



THE Y'S MEN'S CLUB OF

TOKYO HIGASHI

CHARTERED 1988

2014-2015 年度  
5月号  
NO. 308

〒135-0016 江東区東陽 2-2-20 東京 YMCA 東陽町センター内 TEL 03-3615-5568

強調月間

E F  
JEF

国際会長：Poul V. Thomsen (インド) 主題：「言葉より 行動を “Talk Less Do more”  
アジア地域会長：岡野 泰和 (日本) 主題：「未来を始めよう、今すぐに」  
東日本区理事：田中博之 (東京) 主題：「誇りと喜びを持って」  
関東東部部長：金丸満雄 (東京ひがし) 主題：「つなごう ワイズの ころろ」  
東京ひがしクラブ会長：高野真治 主題：「がんばれ！ひがし 012 え 19-19」

### 第3回関東東部評議会

#### 5月例会(館外)

と き 2015年5月16日(土)  
午後3時、勝どき駅改札前集合  
勝どき橋を渡り、築地場内市場見学と  
築地の古い建物等町内を探索します。



#### ★今月の誕生日

齊藤隆廣メン(4日)

#### ♥今月の結婚記念日

鮎澤正和・範子ご夫妻(6日)

金丸満雄・優美子ご夫妻(10日)



4月18日(土)、東陽町センターにて第3回関東東部評議会が午後1時より開催された。開会セレモニーに続いて部長・各事業主査・各クラブ会長より活動報告が行われ、関東東部バナーが披露された休憩に入った。議案審議は、金丸部長を議長に選出し審議が行われた。第1号議案「次期並びに次々期部長選出の件」＝次期部長に鈴木雅博氏(東京江東)、次々期部長に片山 啓氏(茨城)を承認。第2号議案「関東東部次期役員指名の件」＝承認。第3号議案「次期人数割り代議員指名の件」＝金丸直前部長を指名承認。以上3件の議案が承認された。

評議会終了後直ちに次期役員研修会が行われ、鈴木次期部長より、主題は「チェンジ」とし、魅力のある活気あふれるワイズメンズクラブに変身するため、メンバーの増強に力を注ぎ、関東東部全体で、10名の会員確保を目標に、積極的に活動していく方針が述べられた。続いて各主査の自己紹介と挨拶、次期書記と会計より部運営の説明とお願いに続いて、各クラブ会長より挨拶があり、最後に、第19回関東東部部会のアピールで研修会は終了した。

終了後近くの店で、新旧交流の懇親会が行われ、和やかに楽しい時間を過ごした。



#### ✠ 今月の聖句 ✠

『求めなさい、そうすれば与えられる。捜しなさい、そうすれば見つかる。門をたたきなさい、そうすれば開かれる。』

—マタイによる福音書7章7節—

#### 4月例会

出席者 6名 ネット 名  
会員出席数 5名 コメット 名  
在籍数 12名 ゲスト 1名  
(広義会員2名) メンキャップ 1名

会員出席率 70 %

#### スマイル

4月  
6,000円

累計  
67,750円

#### プルリング

2014年12月まで

累計  
90.5 kg

#### 2014-2015年度役員

会長 高野真治  
副会長 鮎澤正和  
書記 金丸満雄  
会計 須田哲史  
担当主事 花井雅男

## ＝関東東 2015-2016 年度役員＝ (敬称略)

部長：鈴木雅博 (東京江東)

書記：小松重雄 (東京江東)

藤井寛敏 (東京江東)

会計：酒向裕司 (東京江東)

次期部長：片山 啓 (茨城)

地域奉仕事業主査：中野英一郎 (東京江東)

会員増強事業主査：金丸満雄 (東京ひがし)

国際・交流事業主査：森下千恵子 (川越)

ユース事業主査：衣笠輝夫 (埼玉)

## 4 月例会報告

今月も事務例会として、鮎澤次期会長より次期会長研修会において、会計等の変更された事項について説明報告。東日本区大会・アジア地域大会への申込などの確認を行った。そして、今月よりひがしクラブの担当主事となった花井雅男氏が紹介された。

鮎澤次期会長より、2015-2016 年度ひがしクラブ役員が発表され承認された。

### 2015-2016 年度 東京ひがしクラブ役員

会長：鮎澤正和

副会長：須田哲史

書記：森村 実

会計：野本多美子

担当主事：花井雅男

## 入院記 “折れた骨の再生”

飯田歳樹

4月4日工場にて一瞬にして事故が起きた。それも安全推進統括責任者の私が自ら起こしてしまった。

これほどの経験は67歳にしてはじめてであり、整形外科医の匠の技を私自身の体で体験することになった。救急車には何度か乗ったことがあるが、ストレッチャーで運ばれるのはじめてだ。処置室に入って自分の足をよく見てみると、右足脛がブラブラしている。改めて事故の大きさを認識し、元通りに治るものか不安になりつつも、付き添ってくれた社員に記念写真を撮ってもらった。実はこの時、まだ痛みはそれほどでもなかったのだ。

その後は手術のための準備だけで、検査と薬の生活が続いた。手術までは1週間ほどかかるといわれたが、3日後の7日に手術日が決まった。手術は予定通り3時間で終了し、全身麻酔から覚めはじめたばかりでまだ感覚が戻りきらない中、担当医から聞いた「うまくいきました」の言葉にひとまず安心したのを覚えている。しかし麻酔が少しずつ抜けていくのと同時に痛みがひどくなり、30分毎に座薬や点滴で痛み止めの処置を施してもらった。右足先はパンパンに腫れ上がり、しびれで痛みが薄れ始めていた。

それから1週間は味の無い病院食と寝づらいベッド、夜中の徘徊患者に悩まされながらも、若くて美人の看護師が倍くらい多い森山記念病院ライブに慣れ始め、順調すぎるほどの回復力でいよいよハビリがはじまった。

早く復帰したくて、リハビリの先生には1日2回来てもらった。見習いの先生には「実験台になるから」と1日4回でも5回でも来てほしいといったが、実現しなかった。それでも4月18日には外出許可を出してもらい、久しぶりのラーメンとたばこを楽しむことができた。それから味を占め毎日外出許可を申請していたら、「入院患者が毎日外出していたら困る」と言われ、「それなら退院させてほしい」と懇願し、4月28日、25日ぶりに自宅に戻り、やっと自分のベッドで熟睡することができた。

これも病院のみならず、社員、友人、家族のおかげだと感謝しています。

これからリハビリ通院は2ヶ月かかりそうです。無理に退院させてもらったのでこれは仕方ありません。ですから、参加したい気持ちはあるのですが、足元の悪い夜間の飲み会など100%参加できるかどうか。松葉づえで酔っ払いはいけませんので足(悪し)からず。



担当主事 花井雅男

▼4月9日、「第25回チャリティーゴルフ大会」がレイクウッド総成カントリークラブにて行われ、88名が参加した。収益金約36万円は、不登校児支援、フレンドシップファンド、障がい児プログラム支援、国際協力募金、東日本震災被災者支援として用いていく。

▼4月25日、「第18回東日本地区YMCA理事・評議員・常議員・総主事研修会」が横浜YMCA主管のもと湘南とつかYMCAにて開催され、東日本の各YMCAから75名が参加した(東京からは9名が参加)。当日は、横浜YMCA会員歴57年の阿部志郎氏(初代神奈川県立保健福祉大学学長、横須賀基督教社会館会長)より「福祉社会の形成とYMCA」と題して基調講演をいただき、続いて日本YMCA同盟中期計画推進副委員長の中道基夫氏(関西学院大学教授、神戸YMCA理事長)より「YMCAの新しいブランディング」について発題があった。参加者による分団協議も行われ、実りの多い研修会となった。

▼4月29日、日本キリスト教団浅草教会にて「第19回高石ともや Bangladesh 奨学基金コンサート」が開催された。会場では、Bangladesh YMCA 同盟のニブン・サングマ総主事からの感謝のメッセージも紹介された。約100名が来場され、益金15万円が集められた。

▼これからの予定

・第13回東京YMCA会員大会

日時 5月23日 PM1:30~4:30 東陽町センター

会費 2,000円

・東京YMCA会員芸術祭

日時 6月20~27日 東陽町センター